

ノロウイルス 予防と対応

～暮らしの場での平常時からの備え、集団の場での発生時の対応～

1 おさらい

- ・今年の発生状況
- ・感染経路、主症状
- ・潜伏期間、感染期間、健康保菌

2 平常時からの備え

- ・手洗い、タオル
- ・日常の掃除
- ・スタンダードプリコーション

3 発生時の対応

(1) 個々の処理

- ・嘔吐物の処理、便・オムツ
- ・消毒

(2) 集団対応

- ・初期の時点

- ・持込みは避けられないと考える
- ・とにかく封じ込める

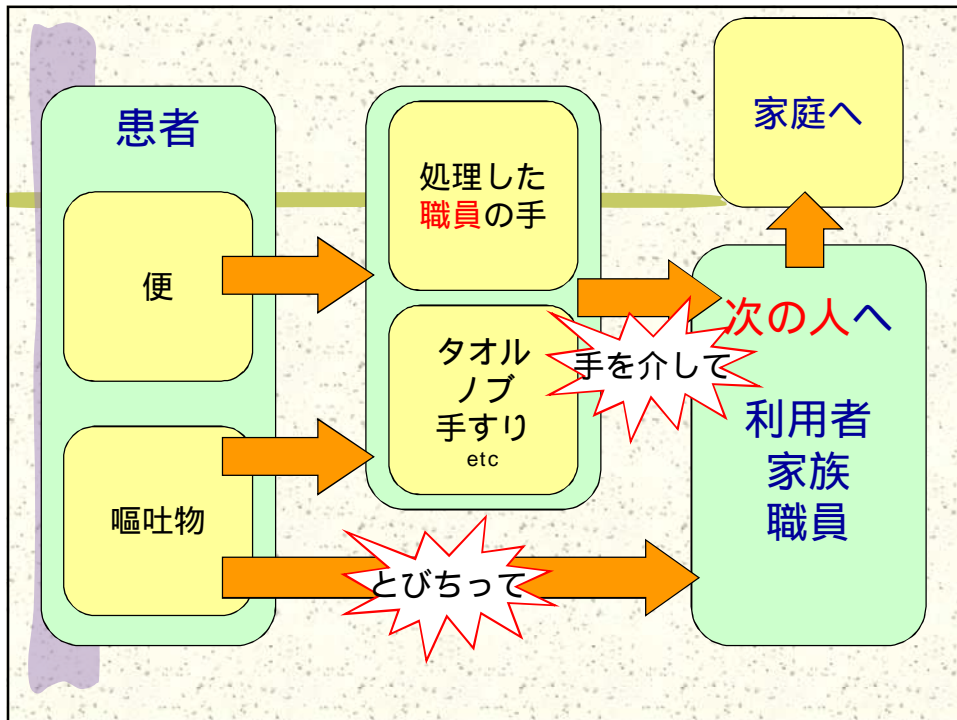
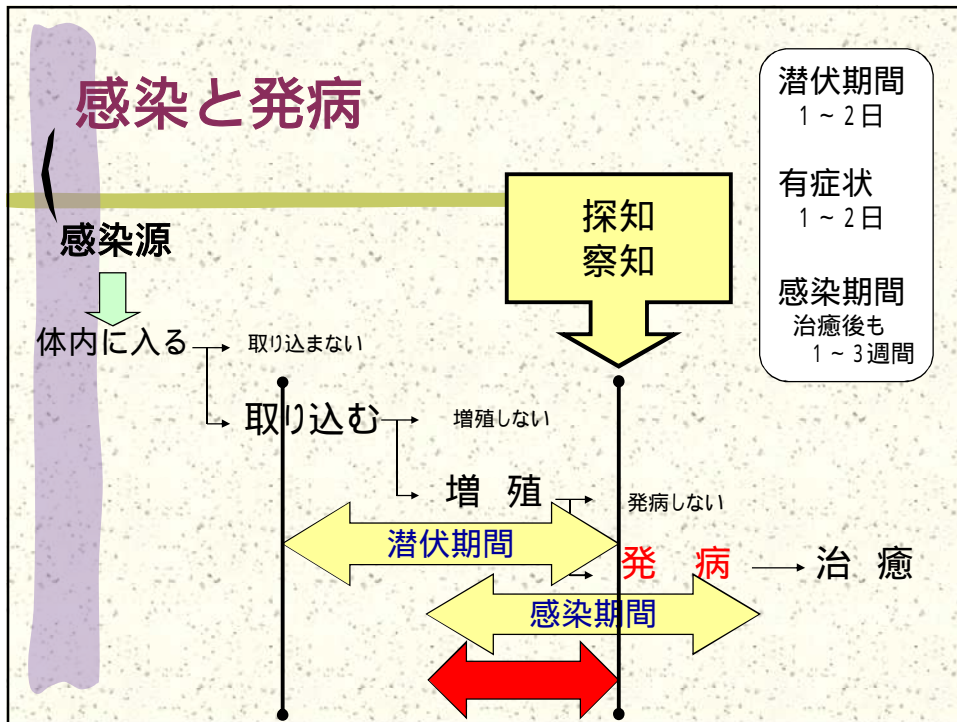
- ・集団になった時

- ・報告の基準
- ・初動の考え方
- ・コホーティングの成否
- ・食事介助

(3) 給食

- ・調理員を守り、食中毒にしない
- ・食器の下膳時、検便
- ・大量調理マニュアル

4 感染症で、日頃、お困りやお悩みのこと



- ・介護者自身の感染予防
- ・介護者を介した療養者への感染予防
- ・保菌に関わらず、誰にも同じ対応

エプロン

清潔なエプロン着用
使い捨てエプロンも持参
血液、便など飛散のおそれ

スタンダードプリコーション

手袋

血液、体液、排泄物にふれる可能性
口腔ケアのとき
介護者の手指に傷があるとき

手袋を着用してても
着用前後に手洗い

マスク

呼吸器感染症の療養者を介護するとき

1 ケア 1 手洗い

日常的手洗い

出勤したとき
帰宅するとき
食事介助の前
排泄ケアの後
介護の前後
手が汚れたとき
手袋を使用の前後

液体石けん
流水

衛生的手洗い

血液、排泄物
汚れた衣類や寝具
カテーテル処置
創傷部のガーゼ交換
感染症の流行時

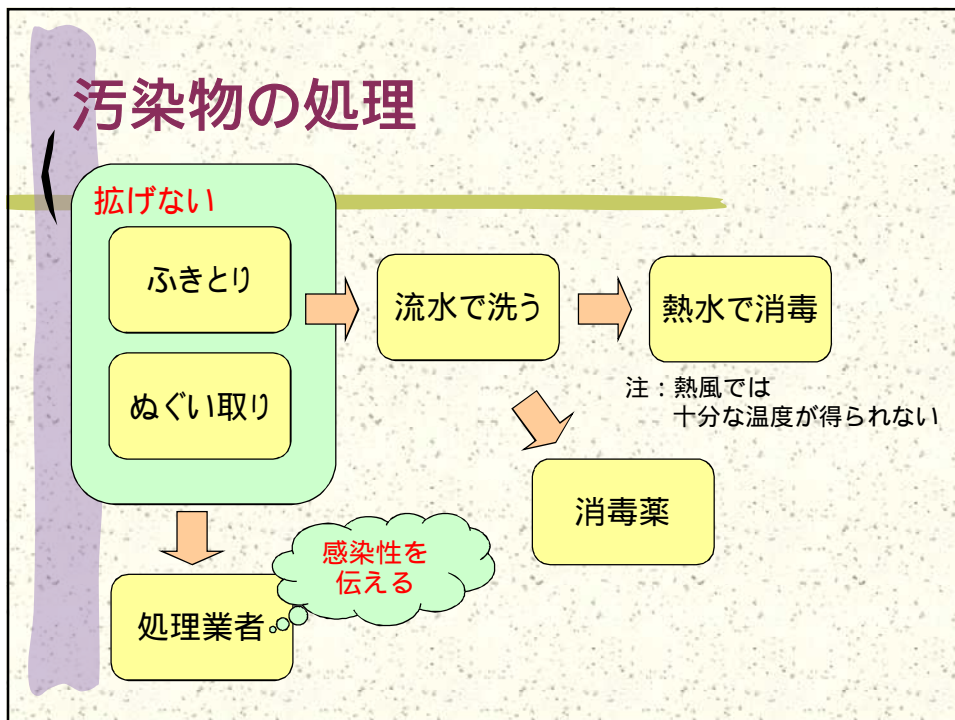
液体石けん
流水

+

消毒薬

ペーパータオル、自分専用タオル

汚染物の処理



区分	消毒薬	一般細菌	緑膿菌	結核菌	真菌	芽胞	ウイルス		
							エンベロープのない小型ウイルス	エンベロープのある中型ウイルス	HBV
高水準	グルタラル フタール 過酢酸								
中水準	次亜塩素酸ナトリウム								
	消毒用エタノール					×			
	70%イソプロパノール					×			
	ポビドンヨード					×			
低水準	クレゾール石けん					×	×		×
	両性界面活性剤					×	×		×
	第四級アンモニウム塩			×		×	×		×
	クローヘキシジン			×		×	×		×

区分	消毒薬	環境	金属器具	非金属器具	手指皮膚	粘膜	排泄物による汚染物
高水準	グルタラル フタール 過酢酸	×			×	×	
中水準	次亜塩素酸ナトリウム		×		×	×	
	消毒用エタノール					×	×
	70%イソプロパノール					×	×
低水準	ポビドンヨード	×	×	×			×
	両性界面活性剤						×
	第四級アンモニウム塩						×
	クローヘキシジン					×	×

ただしノロウイルスにはあまり効かない

人体に使用しない
金属に使用後は水ぶきしないと錆る

日本医師会編「感染症の治療診断ガイドライン」より

	濃いめ濃度	薄め濃度
(原液 5% として)	0.1% (1000ppm) (50倍希釈)	0.05% (500ppm) (100倍希釈)
500mlのペットボトル	キャップ 2杯	キャップ 1杯
1Lのペットボトル	キャップ 4杯	キャップ 2杯
5Lの水に	100cc	50cc

ペットボトルには、必ず「次亜塩素酸」と注意を明記
 手の届かない、暗いところで保管
 希釈したら、1日で使い切り

